

新 社 長

New president

中外炉工業

お ぎ き あ き ら
尾 崎 彰 氏



80年(昭55)大阪府大工卒、同年中外炉工業入社。13年執行役員、16年取締役執行役員、19年同常務執行役員。大阪府出身、62歳。4月1日就任。

スク管理委員会に対応策を洗い出している」
 《大学では流体熱力学の研究室。入社時の熱処理設備の設計を振り出し志》
 (大阪編集委員・林武)

「当社は工業炉関連で幅広い技術を持つ。鉄鋼会社向けの大型設備から

「2019年末、約6年9カ月在任した西本雄二前社長(現会長)から打診を受けた。驚いたが「決めたから」と言われた」。工業炉を軸にモノづくりで存在感を示す思いが強い」

塗工装置のようにサイズが小さく高精度のもの、3000度Cの高温を出せる製品もある。お客さまから相談を受けた際、何らかを提案できる。高温で大きな荷重に耐える必要がある工業炉は経験

値がモノをいう。そこで豊富な強みがある」
 《創業75周年を迎えた。その節目とトップ就任のタイミングに新型コロナウイルス感染症が懸念となる》

に高めること。環境面でも今後はカーボンフリー対応で、熱プロセスが重要になる。新型コロナは経済全体が停滞すれば影響は否めない。出張制限や海外顧客が来社できない点もある。社内のリ

に、幅広い部署で力を発揮してきた」
 「印象深いのは35歳から約15年、鉄鋼プラント関連の海外調達に携わったこと。欧州を中心に一番多いときは年間約300日海外だった」
 《信長は、生き残るのは変化に対応できる者。長女は嫁ぎ、妻と2人暮らし。朝4時30分起床でトイレの散歩が日課だとか》

製品の競争力高める